

# スカイカップラー KX-1 取扱説明書

☆ KX-1は、あなたの受信機とアンテナとの間に接続するだけで、アンテナとのインピーダンスマッチングを取り、アンテナでキャッチした電波を最高能率で、受信機に送り込む画期的な装置です。

★ KX-1は次のような効果があります。

アンテナと一口に言ってもその種類は、色々あります。ハム等でよく用いる $\frac{1}{2}$ 波長のダイポールアンテナは、インピーダンスが75 $\Omega$ 位ですが、ロングワイヤーやT字型アンテナでは、インピーダンスは、50~1000 $\Omega$ 位までさまざまです。

これをそのままBCLラジオに接続すると、ミスマッチング(整合不良)のため損失が大きく、外部アンテナを張ったのに、どうも感度が上らない……という結果にもなりかねません。

こんな時KX-1をアンテナと受信機との間に接続すれば完全にマッチングが取れて感度が上り、さらに同調回路が一段多くなるので、イメージ妨害や混交調などを除くのに威力を発揮します。

## ◎ 特 長

- ① 受信機の改造は、いっさい不要で全社のBCLラジオにマッチします。
- ② 使用出来る周波数は、3~30MHzを7バンドでカバーするワイド設計です。
- ③  $\pi$ 型カップラーのため入出力インピーダンスは連続的に可変出来るので、BCLラジオは勿論ハム用受信機にも効果があります。
- ④ 操作は簡単で、とくに短いアンテナを御使用の方には、すばらしい効果があります。
- ⑤ 受信用としてだけでなく、アマチュア無線の送信用カップラーとしても勿論効果があります。(許容入力10W)

## ◎ 定 格

周波数範囲	3~30MHz
バンド数	BCL……7バンド A~G ハム……5バンド 3.5~28MHz
入出力インピーダンス	50~600 $\Omega$
送信時許容入力	10W
寸 法	W150×H67×D146mm

## ◎ 附 属 品

- ① 本 体 …………… 1
- ② BCL用接続コード …… 1
- ③ 取扱説明書 …………… 1

## ◎ KX-1の上手な使い方

本機があれば、3~30MHzの広帯域の周波数を一本のアンテナでカバーし、最高能率で電波をラジオに送り込めます。また本機は、BCL及びハム用の両方に使えますが、操作方法が異なります。取扱説明文及び図を参考にして正しく用いて下さい。

### I BCL用として用いる場合

- ① 専用接続コードのクリップの無い側の赤色コードをKX-1リヤパネルRX端子のAに接続します。(図-1)
- ② 同じく黒コードをKX-1のRX端子Eに接続します。
- ③ 専用コードの赤色クリップをBCLラジオの外部アンテナ端子A又は短くたたんだロッドアンテナに接続します。(図-1)(感度の良くなる方を選んで決めて下さい。)
- ④ 同じく黒のクリップを外部アンテナ端子のEへ接続します。
- ⑤ あなたの使いたい外部アンテナをKX-1リヤパネルのANT端子のAに接続します。アースがあれば同じくE端子に大地アースをすれば、さらに良い結果が得られます。(図-1)
- ⑥ KX-1のフロントパネルのBCL、HAM切換スライドスイッチを“BCL”側にセットします。(図-2)
- ⑦ ラジオを働かせて放送が一番強く入感するようにチューニングツマミの1と2を交互に回して最良点にします。

最良点が無い時は、タップセレクターを適当に回して最良点を見つけます。(一般に3~5MHzは、A~Bバンド。5~10MHzはC~Dバンド。10~30MHzはE~Gバンド附近に最良点があります。)又BCL用として用いる場合は、チューニングツマミの3は、操作しません。



## II ハム用として用いる場合

- ① アンテナを KX-1 リヤパネルの ANT 側の同軸コネクタへ接続します。(ロングワイヤー等の時は、BCL と同じようにネジターミナルの A に接続しても OK です。)
- ② KX-1 の RX 端子から SWR 計の ANT 側に接続します。そして SWR 計の TX 側をトランシーバーへ接続します。(図-3)
- ③ KX-1 フロントパネルの BCL, HAM 切換 SW を HAM 側にセットして、タップセレクターを運用バンドに合わせてみます。(図-2)
- ④ トランシーバーを送信状態にして SWR 計が 1.0 に近くなるようにチューニングツマミの 1~3 を交互に操作します。(TUNING-3 は、一般に 3.5MHz では、目盛で 1~2 側です。バンドが高くなるにつれて右側になりバリコンがぬけた側になります。)

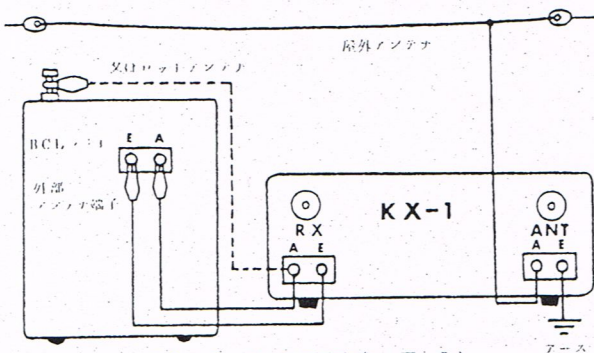
## ● KX-1 操作上の御注意

### I BCL 用として用いる場合

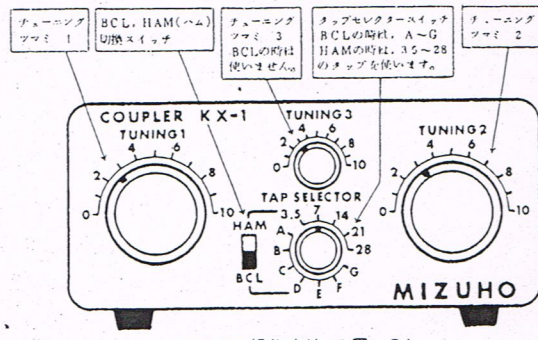
- ① 感度最良点が 2 つのバンドのどちらにもある場合、一般にチューニングツマミ 1 及び 2 は、バリコンのぬけた側(目盛の数が大きい側)で感度最高点が出るようにバンドセレクターを選んだ方がより感度が上がります。
- ② 感度最高点到合わせる場合、高い周波数(15MHz 以上)では、イメージ信号に合わせないように御注意下さい。この場合アンテナを直接ラジオに接続しても聞こえる局が変わらなければ、OK です。

### II ハム局用として用いる場合

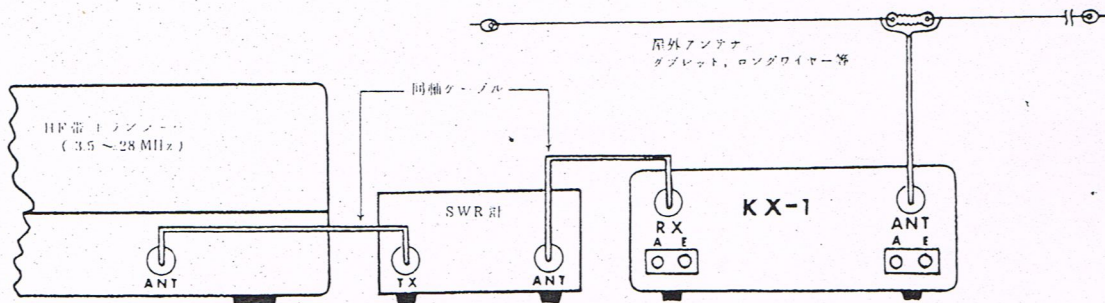
- ① 送信機に用いる場合の許容入力、10W です。充分余裕をみていますが御注意下さい。
- ② SWR を 1.0 に調整する場合チューニングツマミ 2 を全部ぬいてしまっても SWR が 1.0 になる場合は、直列同調型になっている場合もありますから御注意下さい。(バリコンが入った状態で最良点を見つけて下さい。)



BCL ラジオとの接続方法 (図-1)



ツマミの操作方法 (図-2)



アマチュア無線局での送信機との接続方法 (図-3)



ミズホ通信株式会社

東京都町田市森野 2-8-6  
〒194 TEL 0427(23)1049

KX-1 についての御質問は、ミズホ通信株式会社、技術部へお願い致します。